



題材

構成

考えの形成・記述

推敲すいこう

共有

新聞の投書を書く



材料を収集する

自分の意見や感想を多くの人に伝えるために、新聞や雑誌などのマス・メディアへ送る文章を「投書」といいます。自分の意見や感想が相手に伝わるように工夫して文章を書きましょう。



自分の意見や感想について、多くの人の納得や共感を得られるようにするためには、さまざまな方法で材料を収集する必要があります。



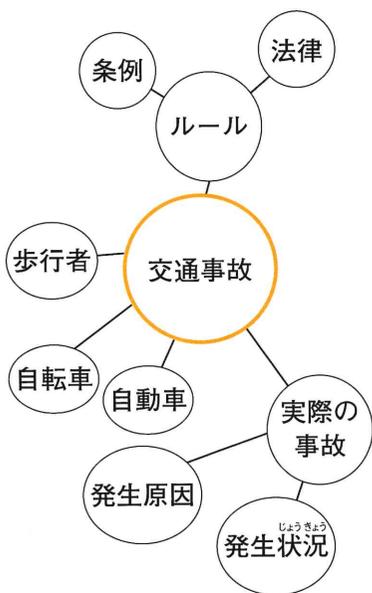
目標

- さまざまな情報の集め方を理解し、活用する。
- 社会生活の中から題材を決め、材料を整理し、伝えたいことを明確にする。

■ アイデアを出す方法
投書「なぜ交通ルールがあるのか」

① 話題から連想する内容を
書き出す。

② 書き出した
内容について調べる。



本
図書館や書店で、交通に関する法律や条例について書いてある本を探す。

アンケート/インタビュー
交通ルールについて、アンケート調査をしたり、インタビューを行ったりする。

新聞/インターネット
交通事故の発生原因や発生状況に関するニュースや最新のデータを収集する。



学習活動の流れ

題材

1

- ・ 社会生活に目を向けて課題を設定する。
- ・ 新聞で多くの人に伝えたいことは何か。
- 例「なぜ交通ルールがあるのか」

選んだ課題についての材料を集める。

- ・ どのような交通ルールがあるか。
- ・ 交通事故や違反の発生件数はどのくらいあるのか。

構成

2

意見に説得力をもたせられる構成を検討する。

考えの形成・記述

3

- 集めた材料を使い、自分の考えが伝わるように工夫して、文章を書く。
- ・ 制限字数内に簡潔に書く。

推敲

4

読み手の立場に立ち、表現の効果などを確かめて文章を推敲する。

共有

5

書いた文章を友達と読み合い、題材の選び方や集めた材料について、感想を交流する。



題材を考える様子



自転車にぶつかりそうになって危なかったから、「交通ルールの大切さ」について、伝えたいと思っているんだ。



そういえば私たちの住んでいる市内で、交通事故がたくさん発生しているよね。



交通ルールを守っていないことによって、事故がたくさん起きていることが伝えられるといいね。



交通事故の発生件数を知りたいな。原因もわかるといいな。

それなら、インターネットで交通事故の発生状況を調べてみるといいよ。
「警察庁交通局」のウェブサイトにアクセスしてみよう。



なぜ交通ルールがあるのか

皆さんに交通ルールについて伝えたいことがあります。

① 先月、私は自転車で友達の家へ向かう途中、脇道から飛び出してきた自転車とぶつかりそうになりました。また、先日、横断禁止場所を横断した歩行者が車にはねられて大けがをするという……（中略）

どちらにも共通しているのが、交通ルールを守らなかった、ということです。交通ルールを守らないと、周囲の人を傷つけたり、ときには自分自身が傷ついたりすることもあります。（中略）

② 交通事故の発生状況をインターネットで調べてみると、安全不確認、脇見運転、信号無視などの法令違反が、交通事故原因の上位にあがっています（〇〇のウェブサイト<https://〇〇〇〇.html> 〇年〇月〇日えつらん閲覧）。

交通事故を起こそうと思っただけで違反をしている人はいないと思うので、「だいじょうぶだろう。」「ついうっかり。」などという、交通ルールに対する意識の低さが原因だと考えられます。

交通ルールというのは、人を縛るためのものではなく、人々を守るためにあります。だから、みんなが交通ルールを守って、みんなでお互いを守り合っていく社会になるとよいと思います。

言葉・情報

・皆さんに……について伝えたいことがあります。

（課題の設定）

学びを生かす

振り返り

- さまざまな方法で、投書に書くこと事柄に必要な情報を集めているか。
- 読み手に伝わるように文章を工夫しているか。

③ 伝えたいことを最後にまとめています。

② 信頼できる情報源か、新しい情報か、などを確認する必要がある。また、ウェブサイトからの情報は、URLと閲覧日を記載し、引用元を明らかにする。

① 自分の体験や身近なできごとを述べると、読み手の共感を得やすくなる。

日常生活で感じたことをもとに書いた文章を実際に新聞に投書してみよう。

